

核兵器廃絶の希望が

見えてきました ●●●●●



求められていきます
核兵器全面禁止の
イニシアチブを
発揮する政府

世界が大きく変化

最大の核保有国であるとともに、核兵器廃絶を求める世界の世論に背を向けてきたのがアメリカ。ところが、今年新たに誕生したオバマ大統領は4月、「核兵器のない世界」を呼びかけ、7月に開催された主要8カ国首脳会議（G8サミット）では、初めて核兵器廃絶の目標に合意しました。

いまや核兵器廃絶は世界の大きな流れとなっています。

いつまでたっても核抑止力 「核の傘」の立場の日本政府

こうした中で、核兵器廃絶のイニシアチブの役割を發揮しなければならぬのが、唯一の被爆国であり、憲法9条を持つ日本政府です。

ところが、今の政府は、原爆の犠牲になった方々や、国民の核兵器廃絶の願いを踏みにじり続けています。オバマ演説の後でも核抑止論、「核の傘」の立場を表明するありさまです。

これほど、国民の意識と乖離した政府はありません。

来年5月NPT再検討会議

いま、世界にひろがる核兵器廃絶、平和の流れをさらに広げ、核の威嚇や軍事優先の時代錯誤の対応を克服していくためには、世界の人々の連帯した行動が必要です。

2010年5月、ニューヨークの国連本部で、核保有国の5カ国も含め、世界190カ国が参加する核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれます。

最大の焦点は、核兵器のない世界への国際政治の決断です。

世界の人々と連帯して 国際署名にご協力を

いま、世界各国でNPT再検討会議に向けた国際署名「核兵器のない世界を」が取り組まれています。ぜひ署名にご協力ください。

